

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年5月18日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	90	19	5	41	41	106
令 和 6 年	85	15	0	33	50	98
前 年 同 期 比	5	4	5	8	-9	8

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	11	12.2%	4	0	3	7	14
	後立山	19	21.1%	4	1	9	12	26
	その他	12	13.3%	0	0	10	4	14
計		42	46.7%	8	1	22	23	54
中央アルプス		9	10.0%	3	1	3	3	10
南アルプス		2	2.2%	0	1	1	0	2
八ヶ岳連峰		12	13.3%	3	0	7	3	13
その他の山岳		25	27.8%	5	2	8	12	27
計		90		19	5	41	41	106

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	31	34.4%	12	0	21	0	33
転 倒	16	17.8%	1	0	15	0	16
病 気	5	5.6%	2	0	0	3	5
道 迷 い	17	18.9%	0	0	0	25	25
落 石	1	1.1%	0	0	1	0	1
雪 崩	2	2.2%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	1.1%	0	0	0	2	2
不明・他	17	18.9%	3	5	3	10	21
計	90		19	5	41	41	106

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	3	3	24 28.9%	0	0	0	0	0	8 34.8%	3	32 30.2%
20代	0	0	1	9	10		0	0	1	4	5		15	
30代	2	2	3	4	11		0	0	1	2	3		14	
40代	4	1	7	2	14	34	1	0	2	1	4	10	18	44
50代	5	0	6	9	20	41.0%	0	0	6	0	6	43.5%	26	41.5%
60代	4	1	7	6	18	25	0	0	5	0	5	5	23	30
70以上	3	1	2	1	7	30.1%	0	0	0	0	0	21.7%	7	28.3%
計	18	5	26	34	83		1	0	15	7	23		106	
比 率	78.3%						21.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（5/12～5/18）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
5月13日	北アルプス 北穂高岳	男	62	死亡	雪崩	2人パーティで北穂高岳に向けて登山中、雪崩に巻き込まれたもの
		女	61	負傷	雪崩	
5月14日	北アルプス 爺ヶ岳	男	63	行方不明	不明	単独で爺ヶ岳にバックカントリーのために入山し、行方不明
5月16日	北アルプス 焼岳	男	23	無事救出	道迷い	2人パーティで焼岳から下山中、残雪により道に迷い、行動不能
		男	23	無事救出	道迷い	

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、死亡遭難と行方不明遭難を含む、3件の山岳遭難が発生しました。
県内の標高が高い山域は、ここ数年では残雪が多いため、様々なリスクが伴います。

① 急峻な山域では、アイゼン・ピッケルが必要で、チェンスパイクでは転倒や滑落の原因となります
② 気温の上昇により、融雪のスピードが早く、雪崩や落石に十分な警戒が必要です
③ 残雪により、ルートが不明瞭で、特に下山時に迷う遭難が発生しています

単独登山をされる方へ

① ゆとりある計画を立て、登山計画書を提出する
② 家族や知人に詳細な予定（行先）を伝える（登山計画書を共有する）
③ 登山用GPSや登山地図アプリを活用する

※ 登山計画書の提出や共有が無いと、入山場所の特定に時間が掛かり、捜索活動が遅くなってしまいます。

春と夏が混在する時季ですが、天候やルート状況の下調べを必ず行い、装備品の軽量化を図るために、命を守る大切な装備品を置いて行くことが無いようにしましょう。